

宮崎県気候変動適応センター通信 第4号

1 令和元年版「環境白書」より「1.5℃特別報告書」について

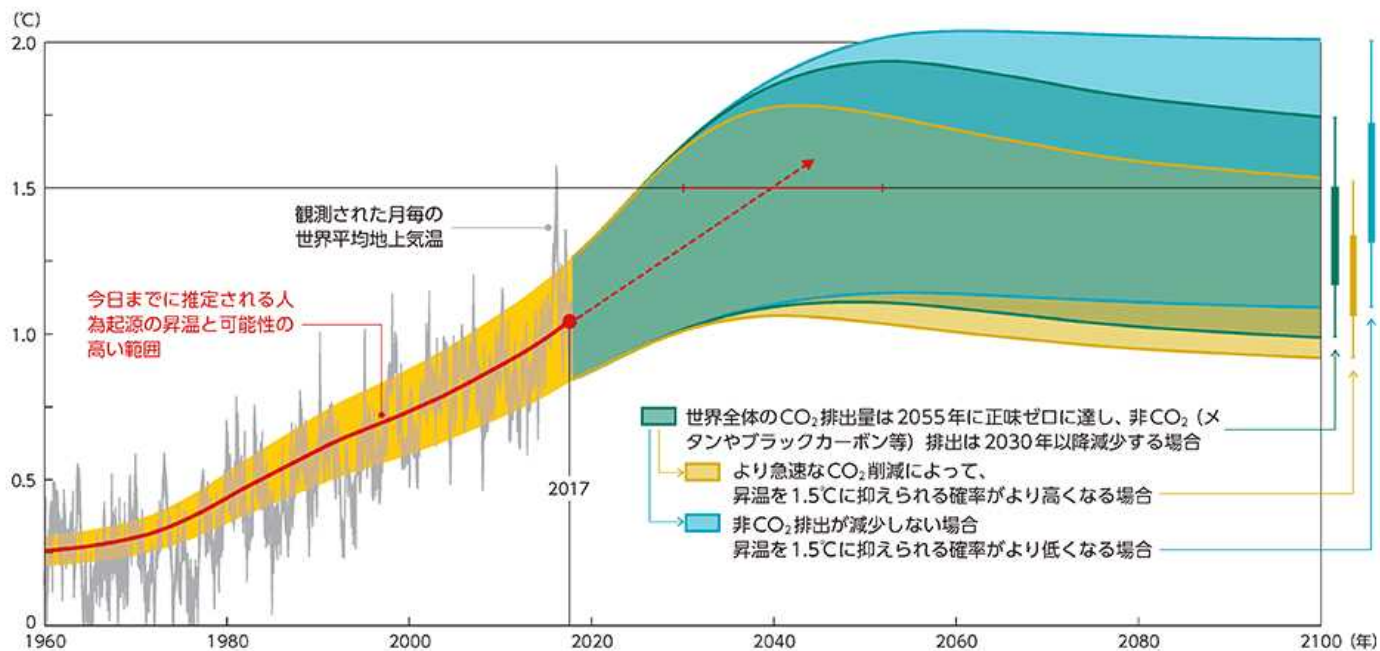
環境省が令和元年6月に公表した「環境白書」の中から、適応策に関連する記事をご紹介します。

1.5℃特別報告書の内容

2018年10月に開催されたIPCC第48回総会において1.5℃特別報告書が公表されました。本報告書は、タイトルのとおり、1.5℃の気温上昇に着目して、2℃の気温上昇との影響の違いや、気温上昇を1.5℃に抑える排出経路等について取りまとめられています。

報告書では、世界の平均気温が2017年時点で工業化以前と比較して約1℃上昇し、現在の度合いで増加し続けると2030年から2052年までの間に気温上昇が1.5℃に達する可能性が高いこと、現在と1.5℃上昇との間、及び1.5℃と2℃上昇の間には、生じる影響に有意な違いがあること、将来の平均気温上昇が1.5℃を大きく超えないような排出経路は、2050年前後には世界のCO₂排出量が正味ゼロとなっていること、これを達成するには、エネルギー、土地、都市、インフラ（交通と建物を含む。）及び産業システムにおける、急速かつ広範囲に及ぶ移行が必要であることなどが示されています。

図2-1-6 1850～1900年を基準とした気温上昇の変化



資料：気候変動に関する政府間パネル（IPCC）「1.5℃特別報告書」より環境省作成

詳細はこちらをご覧ください。↓↓環境省「環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」

<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r01/html/hj19010201.html>

宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin.pref.miyazaki.lg.jp